

平成 26 年度の主な事業報告

社会福祉法人ウエルフェアコスモス

社会福祉事業

地域密着型介護老人福祉施設コスモス苑

開設してより丸 3 年が過ぎ、ご入居者様の身体状況にもかなり変化が出てきました。お食事関係についてもだんだん召し上がる量が減り、経口摂取が難しくなる方も多くなってきました。コスモス苑としましては、ご本人様の状況を見ながら、ご家族様とも話し合いを持ち、どのように介護を行っていくかを確認しながら日々お世話をさせていただいてまいりました。そうした中で、26 年度は 5 人の方をお見送りさせていただきました。

身体状況が重度になるにつれ、吸引、吸痰の必要が出てくる方も増えてきました。コスモス苑はユニットケアとして、各人のお部屋についてはご自分のお部屋として愛着を持っていただきたいと考えてきましたが、2 階の 9 名のユニット、幸町は各個室内に吸痰の設備があるため、状況によってはその部屋の利用が必要となり、やむを得ず、お部屋の交換をお願いしなくてはならない状況も出てきています。そうした状況には、ご本人様、ご家族様ともご説明をさせていただいた上で交換をしていますが、愛着のある部屋を代るということ自体、なかなかストレスであることを考えると頭の痛い問題ではありました。今後もこの傾向は引き続き継続すると思われますので、そうした際には今後も出来るだけ慎重に取り組んで参ります。

*平成 26 年度

年間利用者総数 10,503 名 入所稼働率 99.2% 平均要介護度 3.87

ウエルフェアコスモスあもりデイサービスセンター

26 年度においては、前年度のご利用者の数が月平均 300 名を下回っていたために、体制として小規模で実施してまいりました。通常規模に比べて、若干単価が高いことは有利ともいえますが、全体収益を上げるため、日々の利用者数を上げる努力を行い積極的にご利用者の獲得にも頑張っておりました。そうして昨年度の 5 月からは、デイサービスの定員も 20 名から 30 名へと変更し、さらなるご利用者の受け入れを行ってまいりました。その結果、ようやく採算面でも軌道に乗りつつある状況となり、コスモス苑、デイサービス双方の収益が安定する状況となってまいりました。

しかしながら、年度末後半より、次年度の介護報酬改定の話があり、社会福祉法人が狙い撃ちの状況で介護報酬の引き下げが予想され、その結果が今後どのように響いてくるのかが非常に気がかりな状況となってきていました。

いずれにしても、ご利用者の獲得は必須であると受け止め、後半においてもさらなるご利用者の獲得について職員一同頑張り、現在ご利用中の方については利用回数を増やしていけるよう、満足の行く支援を行うことを心がけて参りました。

*平成 26 年度

年間利用者総数 4,716 名 通所利用率 61.0% 平均要介護度 2.00

居宅介護支援事業所ウエルフェアコスモス

事業所開設以来、コスモス苑の事務室の一部を間借りして、ケアマネージャー1人体制で事業を行ってまいりましたが、1人のケアマネでは、行動が制限され、営業活動もままならないので、利用者の確保が難しく、業績が伸びませんでした。そこで、根本的に経営方針を改善する試みとして、事業所を介護付有料老人ホームコスモスあもり内に移転し、専用の居室を確保して事業所としてのハード面を整備するとともに、ケアマネージャーを3人体制にし並びに主任ケアマネを配置することで、特定事業所加算を申請できる体制に変更いたしました。同時に安茂里地区並びに長野市内への幅広い営業活動に力を入れたことにより、徐々にご利用者が増加となり、当初、1人10名程の担当件数であった実績が、1人30名を越す担当件数となり、大幅に業績も向上させることが出来ました。

開所以来赤字の状態であった収支状況も平成26年9月からは月単位では黒字に転換しており、累積のマイナス分を平成27年度でできるだけ取り返したいと考えています。

安茂里地区においては、事業所としてかなり認知される様になってきましたので、引き続き営業活動に力を入れながら、基本的には「断らず」の精神で新たな顧客の開拓に取り組んでいきたいと思っております。

*平成26年度

年間給付管理件数 995件 ケアマネージャー1人あたり管理件数 29.6件

介護付有料老人ホームコスモスあもり

開所して2年目、実質的には1年を通して初めて事業を行いました。今年度の目標は、当ホームとしての基礎を構築することでした。各種マニュアルを作成して介護の基本的な部分を決め、入居者様にとって最もふさわしいケアが出来るように、毎日、毎日職員の模索の日々が続きました。その積み重ねにより、ようやく、コスモスあもりのケアに対する心構えのようなものができてきたと感じています。

当ホームは有料老人ホームですので、介護を提供するだけでなく、入居者様の生活の質を向上させることももう1つの大きな目標です。各種ボランティアの皆さんに來設していただき、様々な活動をして頂きました。楽器の演奏・歌・各種舞踊・マジック・折り紙等の工作・年間20回以上の企画を行うことが出来ました。また、近隣の保育園や小学校、中学校の子供たちとの交流会も開催することが出来ました。

外出にも力を入れてきました。4月には、入居者全員の方をお花見にお連れすることが出来、長く施設等で過ごしてこられた方々にとっては、本当に喜んでいただきました。10月には、秋の善光寺ドライブという企画で、やはり、全員の方を善光寺の見学にお連れしました。地元、長野市の方が多く、久しぶりに善光寺に來れてうれしいという感想をいただき、職員ともども楽しい時間を過ごすことが出来ました。

当ホームの入居者の方は、比較のお元気な方が多く、今年度はホームでお亡くなりになった方は、お一人で、入院される方もほとんどいらっしゃいませんでした。これは、非常に珍しいケースで、我々にとっては本当にありがたいことでした。

*平成26年度

年間利用者総数 10,585名 入居率 100% 入居稼働率 99.9%
平均要介護度 3.73 入居者平均年齢 86.4歳